

政策企画雇用経済観光常任委員会 所管事項説明資料

1	組織の概要	・・・	1
2	令和8年度当初予算の概要	・・・	3
3	主要事項		
(1)	三重県観光振興基本計画について	・・・	9
(2)	質が高く持続可能な観光地づくりに向けた取組について	・・・	17
(3)	国内誘客の推進について	・・・	19
(4)	インバウンド誘客の推進について	・・・	21
(5)	観光産業の生産性向上、人材確保・育成・定着に向けた取組について	・・・	23

(参考)

資料1 令和8年度 事務事業概要

資料2 三重県観光振興基本計画 令和8年度アクションプラン

資料3 みえインバウンド誘客計画（仮称）中間案

令和8年5月26日
観 光 部

1 組織の概要

【職員定数（令和8年4月1日現在）】

本	庁	43		
地	域	機	関	0
合	計	43		

観光部

（ 部長
塩野進 ）

副部長
服部 睦
次長兼インバウンド誘客総括監
郡 巧

観光総務課
課長 中川千也

観光戦略課
課長 小松卓史

観光振興課
課長 西尾真由子

観光誘客推進課
課長 酒井哲也

海外誘客課
課長 藤田雄一

2 令和8年度当初予算の概要

【基本的な考え方】

令和8年度は、全国的に増加している旅行需要を県内に着実に取り込むため、国内外の旅行者から選ばれる三重県を目指し、持続可能な観光地づくりやインバウンド誘客をはじめとした戦略的な観光誘客に取り組みます。

本県における日本人延べ宿泊者数は、コロナ禍前の水準を上回り順調に増加するなか、外国人延べ宿泊者数については、回復の兆しが現れ始めているもののコロナ禍前まで回復していない状況にあります。

そこで、インバウンドをはじめとした旅行者が安心・安全かつ快適に滞在できる環境を整えるため、宿泊施設の和洋室化等の取組の支援や高付加価値旅行者向けの上質な宿泊施設の立地促進、高付加価値旅行者のニーズに対応できる観光ガイド人材の育成等に取り組むとともに、滞在型周遊観光やガストロノミーツーリズムの推進に取り組むほか、観光事業者の生産性向上や人材確保の取組を支援することにより「持続可能な観光地づくりに向けた受入環境の充実」に取り組みます。

また、インバウンド誘客を強力に展開するため、データに基づいた「みえインバウンド誘客計画（仮称）」の策定に取り組むとともに、本県の認知度向上やゴールデンルート及び関西圏からの誘客に向けたプロモーションの強化、高付加価値旅行者の誘客など「戦略的なインバウンド誘客の推進」に取り組みます。

さらに、首都圏や関西圏等大都市圏からの誘客促進に向けたプロモーションや県内の周遊促進に取り組むとともに、第63回神宮式年遷宮を契機とした取組を推進するなど「国内誘客プロモーションの推進」に取り組みます。

【主な重点項目】

（1）持続可能な観光地づくりに向けた受入環境の充実

国内外の旅行者が安心・安全かつ快適に滞在できる環境を整えるため、宿泊施設の和洋室化や観光防災対応等への取組を支援するとともに、小規模ホテルを含めた上質な宿泊施設の立地促進や、バリアフリー観光の推進、高付加価値旅行者のニーズに対応できる観光ガイド人材の育成、観光地での災害に備えた旅行者向け啓発の多言語化等に取り組めます。

また、全県DMO（観光地域づくり法人）である（公社）三重県観光連盟の基盤強化を通じて地域DMO支援等に取り組めます。

さらに、三重ならではの観光資源を生かした滞在型周遊観光を推進するため、広域のブランディングやストーリー性のある周遊ルートの造成に取り組むとともに、ガストロノミーツーリズムの推進に向け、食に関するコンテンツの磨き上げ等に取り組めます。

加えて、観光事業者の生産性向上や人材確保・育成・定着の取組を支援します。

(2) 戦略的なインバウンド誘客の推進

全国的に増加するインバウンドを本県への誘客に着実につなげるため、データに基づいた「みえインバウンド誘客計画（仮称）」の策定に取り組むとともに、本県の認知度向上を図るため、動画の作成やトップインフルエンサーの発信力を活用した情報発信、観光・食・物産が一体となったプロモーションを展開するほか、ゴールデンルート及び関西圏からの誘客促進に向けて、海外O T Aの活用や鉄道事業者と連携した観光地とアクセス情報をセットにした情報発信に取り組めます。

また、高付加価値旅行者の誘客を推進するため、フランス企業等の福利厚生旅行の誘致や、レップ（営業代理人）の設置・拡充、奈良県及び和歌山県等と連携した広域でのプロモーションに取り組めます。

さらに、県内経済への波及効果の高い国際会議をはじめとしたM I C Eや海外企業による報奨旅行・研修旅行の誘致促進に取り組めます。

(3) 国内誘客プロモーションの推進

首都圏や関西圏等大都市圏からの誘客促進に向け、SNSやテレビ等のメディアを通じた情報発信、観光情報説明会など多様な手段を活用し、効果的に三重の魅力を発信します。

また、県内への誘客及び周遊を促進するため、株式会社ポケモンと連携したキャンペーンや映画・ドラマ等のロケ地情報に関するプロモーションに関係機関と連携して取り組むほか、教育旅行の誘致促進に取り組めます。

さらに、第63回神宮式年遷宮を契機に、本県への関心を高めるため、お木曳行事を題材とした大都市圏向けの観光プロモーションを実施するなど、市町や事業者等と連携した取組を推進します。

令和8年度 観光部関係当初予算総括表

単位：千円

区 分	令和7年度 当初予算額 (A)	令和8年度 当初予算額 (B)	前年度 比較増減 (B-A)	B/A
一般会計	(2,407,305)	(2,462,550)	(55,245)	(102.3%)
	2,302,908	1,818,276	△484,632	79.0%
商工費	(2,407,305)	(2,462,550)	(55,245)	(102.3%)
	2,302,908	1,818,276	△484,632	79.0%

・上段()書きは2月補正予算を含んだ額

持続可能な観光地づくりに向けた受入環境の充実

観光振興課
①③④059-224-3116

観光戦略課
②⑤059-224-3115

国内外の旅行者が安心・安全かつ快適に滞在できる環境を整えるため、宿泊施設の和洋室化等の取組への支援や上質な宿泊施設の誘致に取り組むとともに、高付加価値旅行者のニーズに対応できる観光ガイド人材の育成等に取り組めます。また、(公社)三重県観光連盟の基盤強化を通じて地域DMO支援等に取り組むほか、三重ならではの観光資源を生かした滞在型周遊観光やガストロノミーツーリズムを推進します。さらに、観光事業者の生産性向上や人材確保の取組を支援します。

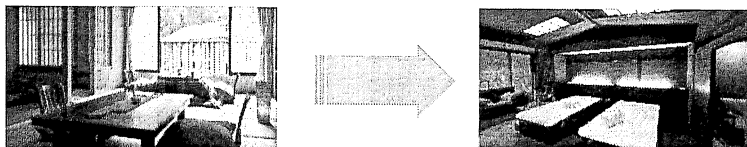
(1) 旅行者を受け入れる環境の充実

① (一部新) 観光客受入環境整備事業 626,088千円

(※R7年度2月補正予算含みベース)

- ・ 宿泊施設の和洋室化や案内表示の多言語化、観光防災対応にかかる整備、熊野古道伊勢路沿線トイレの環境整備等への支援
- ・ 宿泊施設の開発事業者等による視察対応など上質な宿泊施設の誘致に向けた取組の実施
- ・ 高付加価値旅行者のニーズに対応できる観光ガイド人材の育成
- ・ 「観光施設における心のバリアフリー認定」の取得促進やバリアフリーに配慮した旅行商品造成に向けた取組の実施

※上記の取組に加え、「上質な『みえ旅』宿泊施設立地補助金」の制度拡充により、小規模ホテルを含む上質な宿泊施設の立地を促進



宿泊施設の和洋室化

② (一部新) 安心・安全な観光地づくり事業 5,000千円

- ・ 災害時の対応や情報収集の方法等を旅行者に向け多言語で啓発

(2) DMOを中心とした持続可能な観光地マネジメントの確立

③ (一部新) 全県DMO経営基盤強化事業 195,212千円

- ・ 全県DMOである(公社)三重県観光連盟が観光地経営の司令塔としての役割を担い、地域DMOへの支援等を着実に実施するための基盤強化
- ・ (公社)三重県観光連盟が官民連携で取り組む国内外向けプロモーションやデータマーケティングを支援

(3) 三重ならではの観光資源を生かした滞在型周遊観光・ガストロノミーツーリズムの推進

④ (一部新) 拠点滞在型観光推進事業 52,258千円

(※R7年度2月補正予算含みベース)

- ・ お伊勢参りの歴史・文化をふまえた広域のブランディング
- ・ 歴史街道や伊勢西国三十三所観音巡礼、庭園等の観光資源を組み合わせたストーリー性のある周遊ルート造成
- ・ 食に関するコンテンツの磨き上げや情報発信などガストロノミーツーリズムの推進



庭園(菟野町)



海女小屋体験施設(志摩市)

(4) 観光産業の生産性向上・人材確保

⑤ (一部新) 観光産業支援事業 41,956千円

- ・ 個別コンサルティングやワークショップ等を通じて観光事業者の生産性向上、人材確保・育成・定着に向けた取組を支援
- ・ 人手・人材不足等により生産性向上等に取り組める環境にない事業者への対応として、採用・経理・労務などの業務の外注化を支援



観光事業者向けワークショップ

戦略的なインバウンド誘客の推進

海外誘客課
①③④⑤⑥⑦059-224-2847

観光戦略課
②059-224-3115

インバウンド誘客を強力に展開するため、データに基づいた「みえインバウンド誘客計画（仮称）」の策定に取り組むとともに、本県の認知度向上に向け、トップインフルエンサーの発信力を活用した情報発信や観光・食・物産が一体となったプロモーションを実施するほか、ゴールデンルート及び関西圏からの誘客に取り組みます。また、レップの設置・拡充や奈良県・和歌山県等と連携した広域での高付加価値旅行者の誘客に取り組みます。

(1) インバウンド誘客に向けた計画策定

① 海外誘客推進プロジェクト事業 998千円（一部）

- ・データに基づき本県の強み・弱み等を分析し、有識者の意見等もふまえ「みえインバウンド誘客計画（仮称）」を策定

(2) データマーケティングの充実

② (一部新) 観光データ調査事業 64,111千円

- ・県内宿泊施設の受入れ状況や、旅行者の属性、県内での立ち寄り場所等のデータを取得・収集
- ・データに基づいた次期三重県観光振興基本計画の策定

(3) インバウンドプロモーションの推進

③ (一部新) 海外誘客推進プロジェクト事業

100,176千円（一部）

- ・本県の認知度向上に向け、インバウンドが関心を寄せる体験コンテンツ等の紹介動画の作成やトップインフルエンサーの発信力を活用した情報発信
- ・現地飲食店と連携した情報発信など観光・食・物産が一体となったプロモーションの実施
- ・旅行会社や国内ランドオペレーターを対象にしたセミナー、ファムトリップ等の実施



インフルエンサーによる県内視察(鳥羽市)

④ (一部新) プラス三重旅促進事業 40,000千円

- ・ゴールデンルート及び関西圏からの誘客を促進するため、海外OTAを活用した情報発信及び県内事業者の登録支援
- ・鉄道事業者と連携し、観光地とアクセス情報をセットにしたプロモーションの実施

(4) 高付加価値旅行者の誘客促進

⑤ (一部新) 高付加価値旅行者層誘致促進事業 170,180千円

(※R7年度2月補正予算含みベース)

- ・フランス企業等の福利厚生旅行の誘致に向けた、観光セミナーやファムトリップの実施
- ・レップ（営業代理人）の設置・拡充
- ・奈良県、和歌山県等と連携した広域でのプロモーションの実施



福利厚生旅行の送客に係るMOU締結式



海外の旅行会社による県内視察(関宿)

(5) MICE・産業観光の推進

⑥ 海外MICE誘致促進事業 28,814千円

- ・レップによるセールスや商談会への出展、ファムトリップ、補助金の活用等による国際会議などのMICE誘致

⑦ (一部新) 産業観光推進事業

15,948千円

- ・三重県産業観光推進協議会と連携し、産業観光の促進に向けたプロモーションや視察受入企業の裾野拡大
- ・海外セールスのフォローアップを通じた海外企業による報奨旅行・研修旅行の誘致促進



伝統工芸品(伊勢木綿)工場の視察

国内誘客プロモーションの推進

観光誘客推進課
①②③059-224-2802

観光振興課
④⑤059-224-3116

首都圏や関西圏等大都市圏からの誘客促進に向け、SNSやテレビ等のメディアを通じた情報発信、観光情報説明会など多様な手段を活用した効果的な観光プロモーションに取り組みます。

また、第63回神宮式年遷宮に向けて、お木曳行事など諸行事が行われることから、来訪者をおもてなしし、取組の効果が全県に波及するよう、市町や事業者等と連携した本県の魅力発信や受入環境の充実に取り組みます。

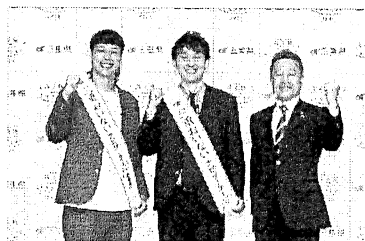
(1) 大都市圏における観光プロモーションの推進

① 大都市圏プロモーション事業 102,274千円 (一部)

- ・首都圏や関西圏等大都市圏からの誘客促進に向け、SNSやテレビ等のメディアを通じた情報発信、観光情報説明会など、多様な手段を活用することによる効果的な三重の魅力の発信



みえ旅レセプション2025



(2) 県内への誘客・周遊の促進

② 県内周遊促進事業 63,538千円

- ・株式会社ポケモンと連携したキャンペーンや、映画・ドラマ等のロケ地情報に関するプロモーションの実施
- ・平日の観光需要喚起や県内への再訪が見込める将来のリピーター獲得につなげるため、県外からの教育旅行誘致に向けた目的地としての魅力のPR



「三重県×ミジュマル」ロゴマーク

©Pokémon. ©Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.
ポケットモンスター・ポケモン・Pokémonは任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの商標です。

(3) 第63回神宮式年遷宮を契機とした取組

③ (一部新) 大都市圏プロモーション事業

35,128千円 (一部)

- ・第63回神宮式年遷宮を契機に本県への関心を高めるため、お木曳行事を題材とした大都市圏向けの観光プロモーションの実施

④ (一部新) 観光客受入環境整備事業

626,088千円 (再掲)

- ・市町や事業者等で構成される「いせしませんぐう旅実行委員会」に参画し、機運醸成や受入環境の充実、プロモーションの推進
- ・国内外の旅行者が安心・安全かつ快適に滞在できる環境を整えるため、宿泊施設の和洋室化等への支援



「いせしませんぐう旅」ロゴマーク

⑤ (一部新) 拠点滞在型観光推進事業

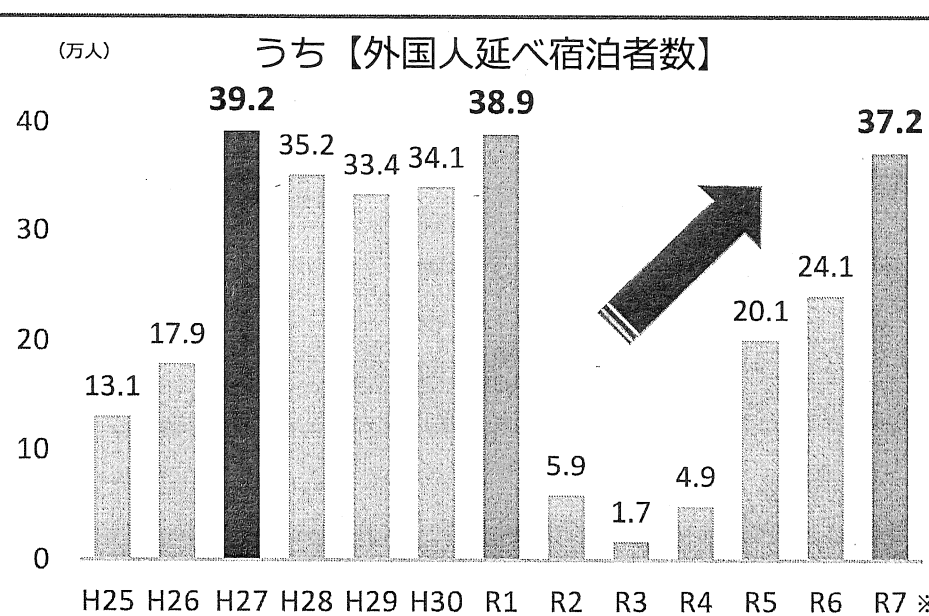
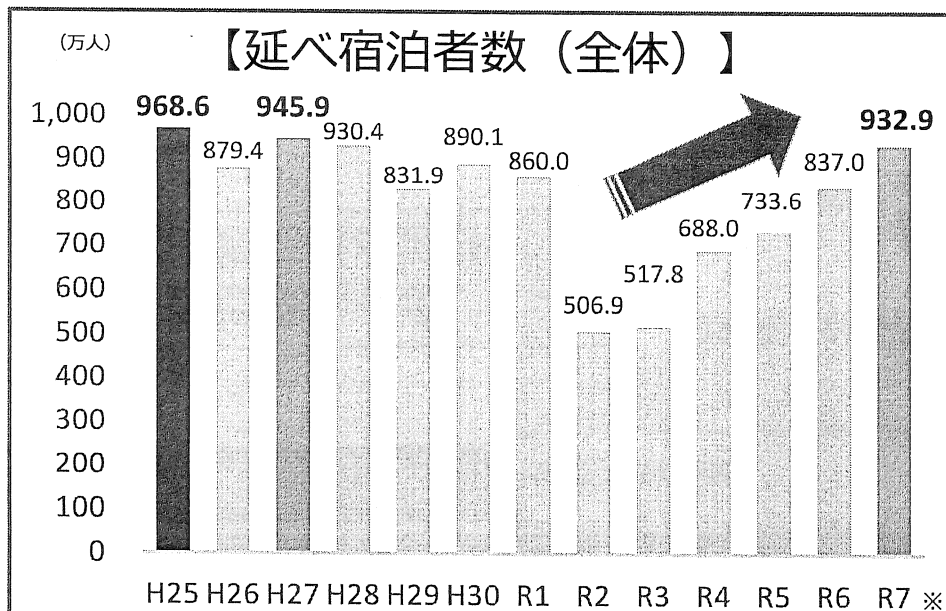
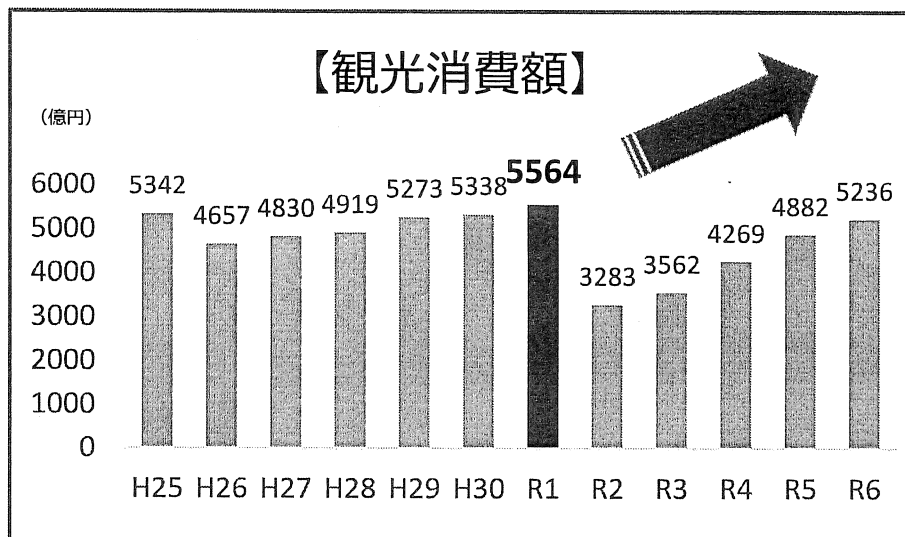
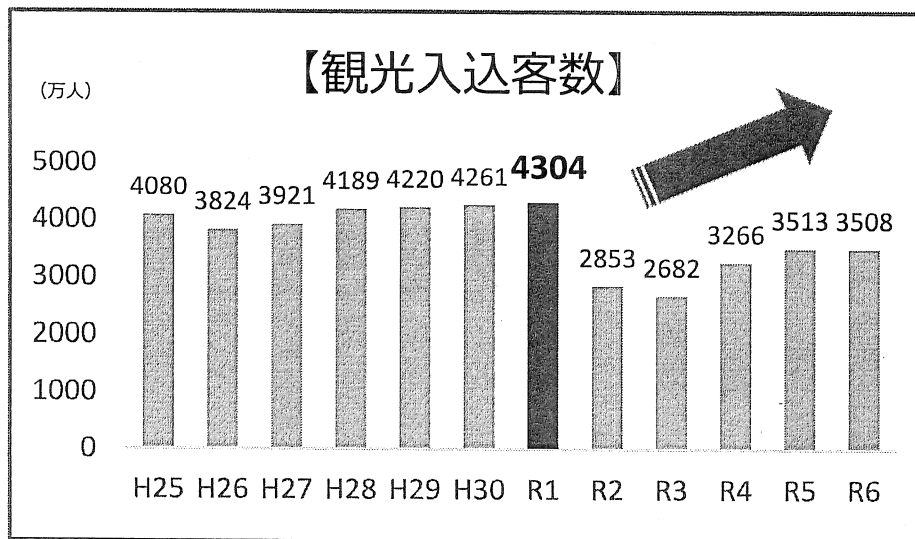
46,673千円 (一部再掲)

- ・お伊勢参りの歴史・文化をふまえた広域のブランディング
- ・歴史街道や伊勢西国三十三所観音巡礼、庭園等の観光資源を組み合わせたストーリー性のある周遊ルートの造成
- ・食に関するコンテンツの磨き上げや情報発信などガストロノミーツーリズムの推進

(1) 三重県観光振興基本計画について

① 三重県観光の現状

※R7は速報値



(1) 三重県観光振興基本計画について

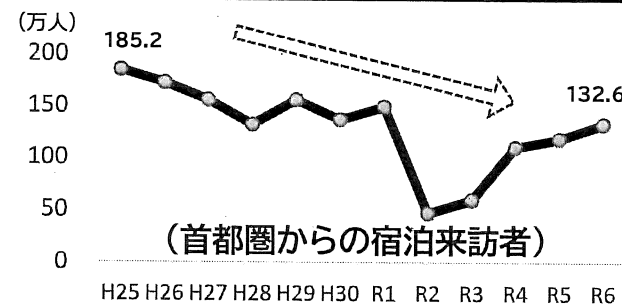
② 三重県観光の課題

※R7は速報値

首都圏からの
宿泊来訪者が減少

遷宮年(H25)以降

約 **50** 万人の減少



平均宿泊日数が低位

(R7 平均宿泊日数) ※

三重県 1.20泊

全国 1.42泊

全国 **42** 位

外国人延べ宿泊者数
回復率が低位

R6

回復率 62.0%
(R1年比)

全国 47 位

R7 ※

前年比:154.3%
全国 3 位

回復率:95.7%
全国 39 位

観光インフラの整備

宿泊
施設

交通
アクセス

観光
ガイド

宿泊施設や二次交通などの
受入体制(観光インフラ)の整備が不十分

(1) 三重県観光振興基本計画について

③ 三重県観光振興基本計画の位置付け

- 「みえの観光振興に関する条例」（平成23年施行）に基づき、観光の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために定める計画です。
- 現行の三重県観光振興基本計画の計画期間は、令和6年度から令和8年度までの3か年です。

④ 三重県観光振興基本計画に基づくアクションプラン（概要版）

- 三重県観光振興基本計画の目標達成に向けて、アクションプランを毎年度作成し、具体的取組を示すこととしています。
- 主目標・副目標をKGIとし、「目標値・実績」、「令和8年度目標達成に向けた方向性」を設定しています。
- KGIを達成するため、3つの施策の柱の具体的な戦略ごとに「目標値（KPI）・実績」、「令和7年度のKPIの達成状況及び評価」、「令和8年度のKPI達成に向けた重要達成要因（KSF）」、「令和8年度取組の方向性」について定めています。

目標項目（KGI）		R7目標	R7実績	達成率
主目標	観光消費額	5,560億円	※集計中	—
副目標1	観光紹介意向率 ※県「観光客実態調査」の「紹介意向」にて、「大変そう思う」と回答した人の割合	40.8%	37.2% （「大変そう思う」「そう思う」「やや思う」の合計は89.1%）	91.2%
副目標2	観光従事者満足度	57.0%	64.4%	113.0%
副目標3	観光がプラスの効果をもたらすと捉えている地域住民の割合	73.2%	※集計中	—

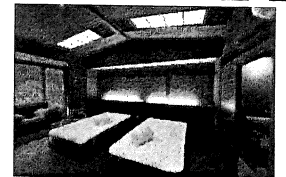
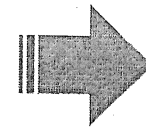
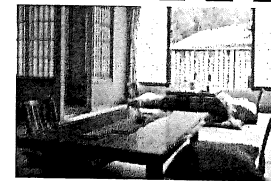
[1] 質が高く、持続可能な観光地づくり

戦略		R7戦略目標 (KPI)	R7実績 (達成率)	達成状況及び評価	令和8年度の主な取組の方向性
1 1	持続可能な観光地マネジメント	持続可能な観光地域づくりに取り組む地域数 : 累計3地域	累計3地域 (100.0%)	<ul style="list-style-type: none"> JSTS-Dの認証を得た地域数は目標を達成 持続可能な観光地域づくりに取り組む地域DMOを支援できるよう、引き続き(公社)三重県観光連盟の基盤強化が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 地域DMO等が持続可能な観光地マネジメント体制を確立するうえでの課題を解決できるよう、(公社)三重県観光連盟によるコンサルティング支援を実施
		先駆的DMOの認定数 : 0	0 (100.0%)		
1 2	観光の質の向上による高付加価値化	日本人宿泊者観光消費単価 : 29,500円	31,376円 (106.4%)	<ul style="list-style-type: none"> 現状として目標値を上回っているものの、消費者物価指数の上昇や円安の影響により嵩上げされている側面もあることから、引き続き、高付加価値旅行者の多様なニーズをふまえて観光基盤や旅行体験の充実を図ることが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 「上質な『みえ旅』宿泊施設立地補助金」を活用した宿泊施設の誘致活動を実施 高付加価値旅行者のニーズに対応できる観光ガイドの確保・育成に向けた実践的な講座や活躍機会創出を実施
		外国人観光消費単価 : 48,950円	51,000円 (104.2%)		
1 3	三重の特色を生かした滞在型観光の推進	平均宿泊日数 : 1.30泊	1.20泊 ※速報値 (92.3%)	<ul style="list-style-type: none"> 現状値として目標値を下回っており、かつ、前年よりも低下している。ターゲットを定め、旅行者の周遊促進に向けた滞在価値を創出することが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 旅行者の滞在・周遊性を高めるため、歴史・文化、食、自然(癒し)等の三重ならではの観光資源を生かし、広域のブランディングやストーリー性のある周遊ルートの造成に取り組むとともに、ガストロノミーツーリズムを推進
1 4	旅行者を受け入れる基盤の整備	宿泊者満足度 : 48.3%	42.4% (87.8%)	<ul style="list-style-type: none"> 「大変満足」の割合については、目標及び前年を下回ったが、「大変満足」・「満足」・「やや満足」の合計は前年を上回る97.5%(前年差+0.2%) 県外宿泊者5回以上リピーター率についても、目標及び前年を下回ったが、2回以上のリピーター率の合計は前年を上回る86.5%(前年差+0.6%) 宿泊者満足度の「大変満足」の割合を向上させることにより、リピーターが増加すると考えられることから、旅行者のさまざまなニーズに応えていくことが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊施設や観光施設の高付加価値化やユニバーサルツーリズム、観光防災に資する改修及び熊野古道沿線のトイレの充実化等を支援 県内の宿泊施設や観光施設において、「観光地における心のバリアフリー認定」の取得促進を含む、バリアフリー推進及びバリアフリー情報の効果的な発信を行うほか、バリアフリー観光に資する旅行商品の造成を支援
		県外宿泊者5回以上リピーター率 : 63.4%	54.9% (86.6%)		



←戦略1-3
海女小屋体験施設(志摩市・左)
庭園(菟野町・右)

戦略1-4→
宿泊施設の和洋室化による高付加価値化改修



[2] 戦略的な観光誘客の推進

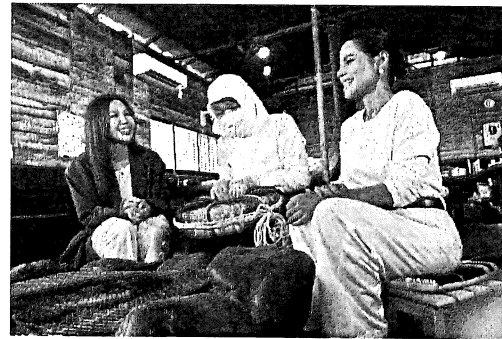
戦 略		R 7戦略目標 (KPI)	R 7実績 (達成率)	達成状況及び評価	令和8年度の主な取組の方向性
2 1 1	戦略的な 観光マー ケティング の推進	観光地域マーケ ティング戦略を策 定したDMOの 数：2	2 (100.0%)	<ul style="list-style-type: none"> 現状として目標を達成している。引き続き、地域DMOの戦略策定や見直しについてコンサルティング支援に取り組むことが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 全県DMOである（公社）三重県観光連盟により、観光地域マーケティング戦略を策定するうえでの課題解決に向けたコンサルティングによる支援や、自社サイトや自社SNS等を活用した情報発信及びデータ分析手法に関する支援を実施
2 1 2	国内観光 誘客の推 進	日本人延べ宿泊者 数 ：904万人	895万7千 人 ※速報値 (99.1%)	<ul style="list-style-type: none"> 目標をわずかに下回ったが、宿泊日数の長い首都圏からの宿泊者割合は前年と比較して増加。引き続き、首都圏や関西圏等大都市圏への三重県の魅力発信や、第63回式年遷宮に伴うお木曳行事等大規模イベントの契機を生かしたプロモーションに一層取り組んでいくことが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 首都圏や関西圏等大都市圏からの誘客促進に向け、SNSやテレビ等のメディアを通じた情報発信、観光情報説明会など、多様な手段を活用することにより、効果的に三重の魅力を発信 第63回式年遷宮を契機に三重県への関心を高めるため、お木曳行事を題材とした観光プロモーションを実施
		宿泊を伴う教育旅 行で県外から訪れ た学生数 ：69,000人	41,268人 (56.8%)	<ul style="list-style-type: none"> 少子化による生徒数減少や、コロナ禍で増えた愛知県など近隣県の学校の大幅な実績減等の影響により、目標値を下回った。県外からの教育旅行誘致に向け、引き続き学校のニーズに沿って、目的地としての魅力を効果的に発信していくことが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 平日の観光需要喚起や県内への再訪が見込める将来のリピーター獲得につなげるため、県外からの教育旅行の誘致に向けた目的地としての魅力のPR等を実施
2 1 3	インバウ ンド誘客 /MICE・ 産業観光 の推進	外国人延べ宿泊者 数 ：42万人	37万2千人 ※速報値 (88.6%)	<ul style="list-style-type: none"> 目標を下回ったものの、前年と比べると54.3%増加しており、令和元年との比較でも回復率95.7%と、おおよそコロナ禍前の水準まで回復した。オーバーツーリズムの未然防止を念頭に置きつつ、策定中の「みえインバウンド誘客計画（仮称）」に基づき、効果的なプロモーションに取り組んでいくことが必要 	<ul style="list-style-type: none"> データに基づき本県の強み・弱み等を分析し、有識者等の意見も心まえ「みえインバウンド誘客計画（仮称）」を策定 インバウンドが関心を寄せる体験コンテンツ等の紹介動画の作成やトップインフルエンサーを活用した情報発信や観光・食・物産が一体となったプロモーションなどを実施 ゴールデンルートからの誘客を図るため、鉄道事業者と連携した観光地とアクセス情報をセットにしたプロモーションや海外OTAを活用した情報発信を実施 レップの設置・拡大やフランス企業の福利厚生旅行の誘致などを実施
		国際会議開催件数 ：12件	9件 (75.0%)	<ul style="list-style-type: none"> 目標を下回った。令和7年度からMICE補助金の対象を国際会議に加え、企業による会議やインセンティブ旅行まで拡充したため、大学との連携やレップ等の機会を活用しながら、引き続きMICE誘致に取り組んでいくことが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 海外からの企業の報奨旅行・研修旅行の増加につなげるため、三重県産業観光推進協議会によるプロモーション等の活動を支援 また、レップの設置や商談会参加に加え、三重県海外MICE誘致促進補助金の活用や関係機関との連携により、さらなるMICE誘致を実施

[3] 魅力的な観光産業の確立

戦 略		R 7 戦略目標 (KPI)	R 7 実績 (達成率)	達成状況及び評価	令和 8 年度の主な取組の方向性
3 1 1	観光産業の 生産性向上	生産性向上に取り 組んだ事業者数 : 累計 25 者	累計 117 者 (468.0%)	<ul style="list-style-type: none"> 目標値は上回ったものの、現状として、事業規模や人手・人材不足を理由に、そもそも生産性向上や人材確保等に取り組める環境にない事業者もあることから、観光事業者が自ら取組を促進できるよう支援することが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、生産性向上や人材確保等に関する取組事例を創出するモデル事業を実施し、横展開を図ることで、観光事業者が生産性向上や人材確保等に取り組むきっかけをつくり、県内観光産業全体で生産性向上や人材確保等の取組を促進 人手・人材不足等により生産性向上や人材確保等への取組を進められていない事業者を対象に、採用・経理・労務などの業務の外注化を支援し、収益や経営に直結する業務に集中できる環境を整えることで、生産性向上や人材確保等の取組を促進
3 1 2	観光産業を支える人材の確保・育成・定着	待遇改善に取り組んだ事業者数 : 累計 25 者	累計 84 者 (336.0%)		



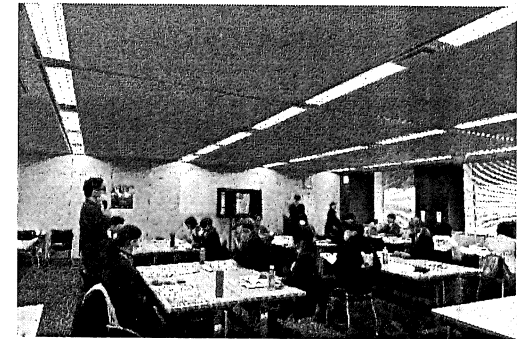
↑戦略 2-2
首都圏観光情報説明会
みえ旅レセプション 2025 (東京都新宿区)



↑戦略 2-3
海外インフルエンサーによる県内視察 (鳥羽市)



↑戦略 2-3
フランス福利厚生旅行に係るMOU締結式



↑戦略 3-1、3-2
観光産業の生産性向上・人材確保事業に関する
成果報告会

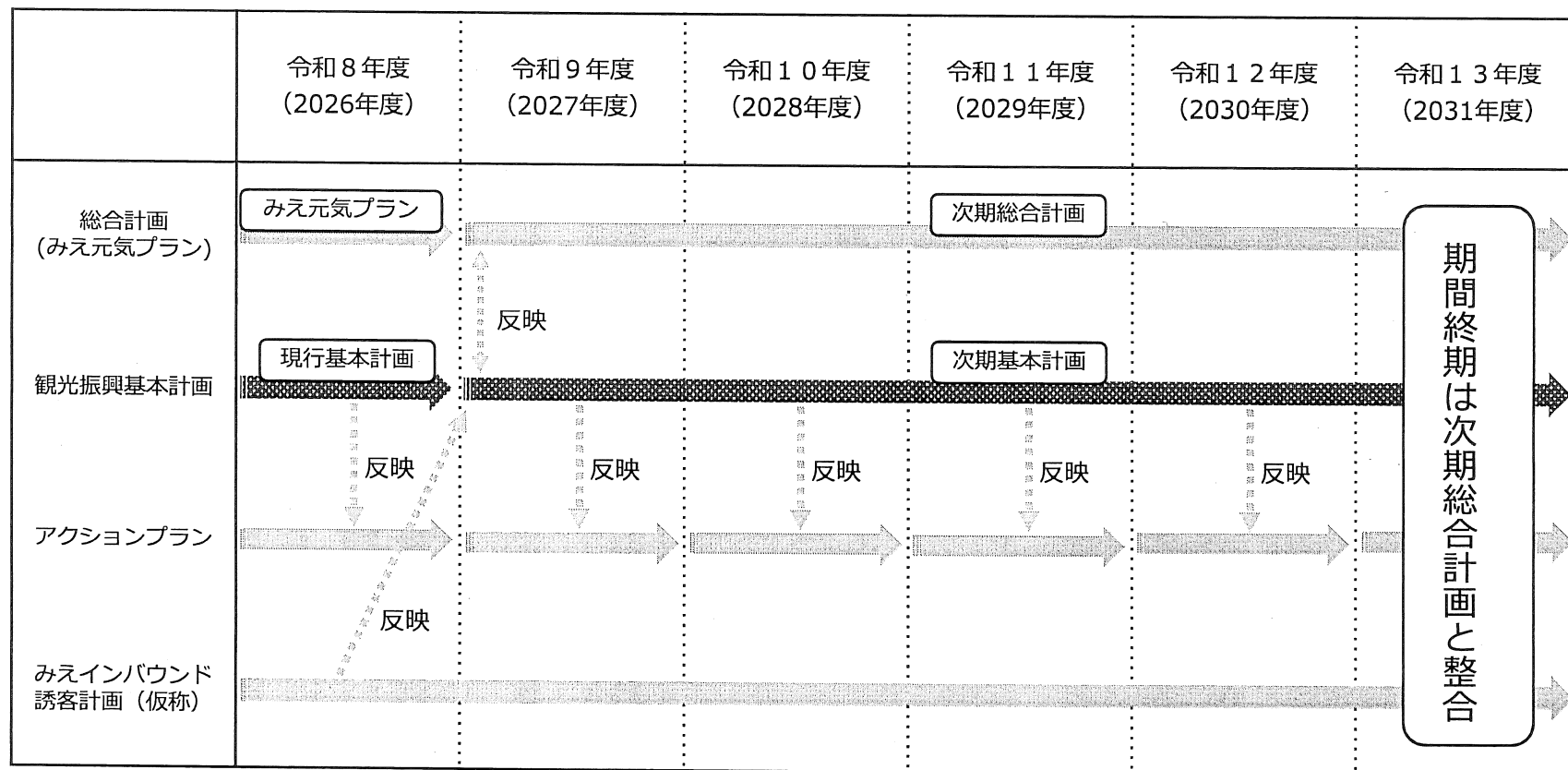
(1) 三重県観光振興基本計画について

⑤ 次期三重県観光振興基本計画について

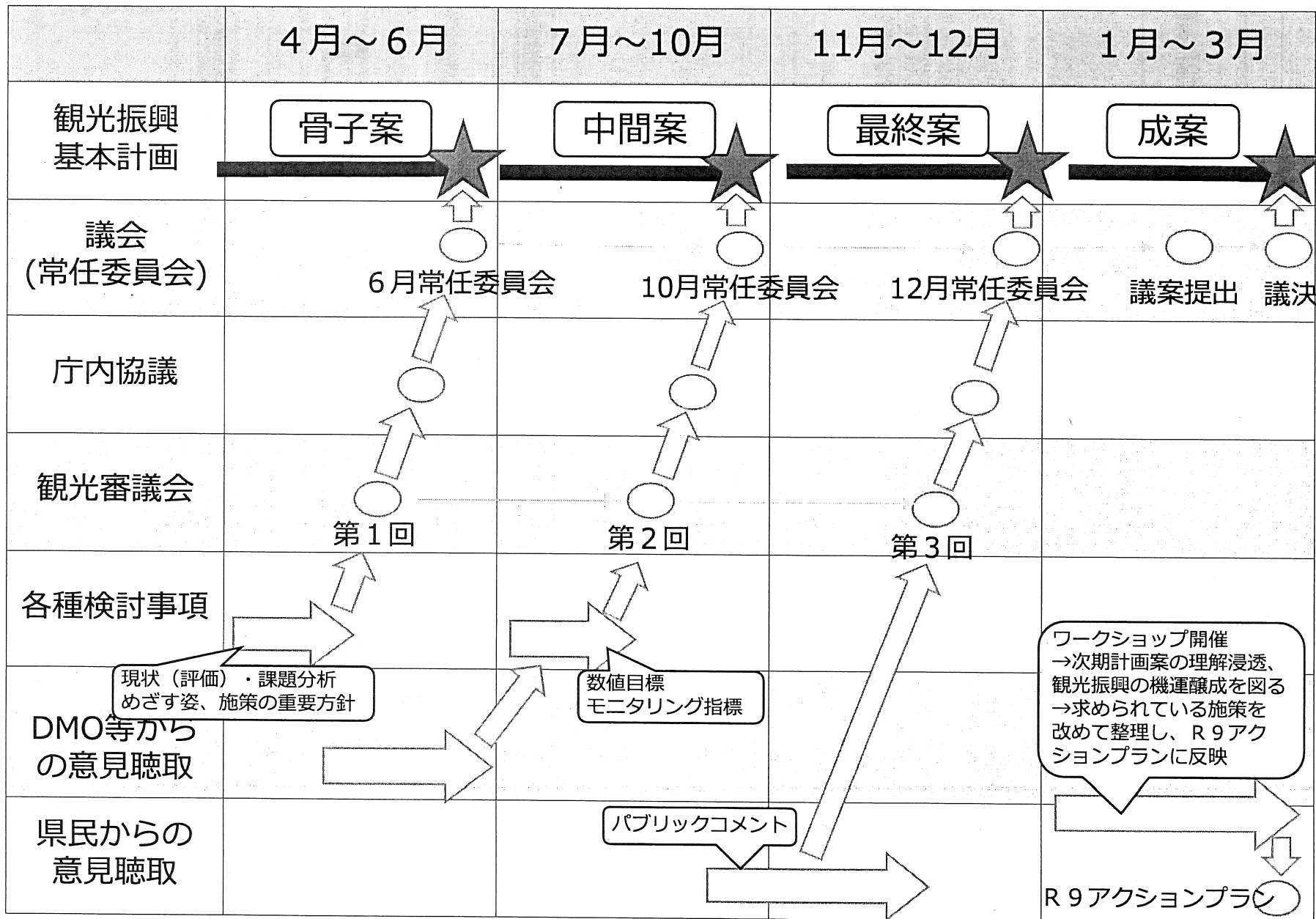
【概要】

- (1) 計画期間 令和9年度～13年度の5か年（予定）
- (2) 策定スケジュール 6月：骨子案、10月：中間案、12月：最終案、3月：成案（議決）
※詳細は次ページのとおり

【計画相互の関係性】



(1) 三重県観光振興基本計画について



(2) 質が高く持続可能な観光地づくりに向けた取組について

旅行者の周遊・滞在を促進するため、三重ならではの観光資源を生かした地域の滞在型観光の取組を推進するとともに、三重県観光連盟の基盤強化を通じて地域DMO（観光地域づくり法人）のデータマーケティングや国内向けプロモーション等の取組を支援します。

また、インバウンド等高付加価値旅行者のニーズに対応した宿泊施設や観光施設の受入環境を充実させるとともに、上質な宿泊施設の誘致等に取り組みます。

① 三重ならではの観光資源を生かした滞在型周遊観光の取組

I 「現代版お伊勢参り」推進事業

三重ならではの観光資源を生かし、お伊勢参りの歴史・文化をふまえた広域のブランディングを行うとともに、「歴史街道」「伊勢西国三十三所観音巡礼」「庭園」「食」等の観光資源を組み合わせた周遊ルートの造成に取り組みます。

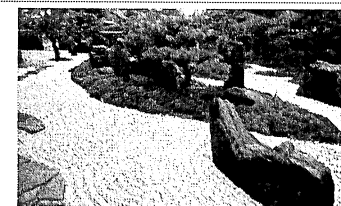
II 「みえガストロノミーツーリズム」高付加価値化事業

三重ならではの歴史・文化、自然（癒し）と絡めたストーリー性のある旅行商品や周遊ルートの造成に取り組み、ガストロノミーツーリズムを推進します。

また、インバウンド誘客に向けて、京都府、兵庫県、福井県と連携し、京都府と各県を結ぶ食を巡るモデルコースの販売を行うためのプロモーションを展開します。

III JR関西線観光推進事業

JR関西線12駅の沿線自治体や企業等で構成する「JR関西線観光推進連携協働会議」において、沿線の魅力的な観光資源の発掘・磨き上げを行うとともに、インフルエンサー等を活用した沿線の「歴史・伝統」「食」等の情報発信によりJR関西線の観光面での利用促進を図ります。



横山氏庭園（菰野町）

② 三重県観光連盟の強化する取組

I インバウンド誘客

台湾・タイ・シンガポール等を対象として、現地レップ（営業代理人）の活用や商談会への出展、海外メディアやインフルエンサーを活用した情報発信等により誘客に取り組みます。

II 地域DMO等への支援

地域DMO等のデータに基づく事業運営体制の構築及び人材育成のため、研修会の開催や専門家派遣等により支援します。

III データマーケティング

より効果的な観光客への誘客アプローチを実現するため、宿泊者等のデータ収集・分析を行うとともに、データ分析にかかる学習会開催や専門家派遣等により地域DMO等のデータ活用を支援します。

IV 国内向けプロモーション

三重県観光連盟が持つ官民連携組織ならではのネットワークやスケールメリットを生かし、観光連盟の会員による共同プロモーションを実施します。

(2) 質が高く持続可能な観光地づくりに向けた取組について

③インバウンドを含む誰もが快適に過ごせる受入環境の充実

I インバウンド・ユニバーサルツーリズム・観光防災推進 補助金

インバウンドや高齢者、障がい者など誰もが安心・安全かつ快適に観光を楽しめるよう、受入環境の整備を支援します。

- 補助対象者：宿泊施設、観光施設、土産物店、観光案内所
- 募集期間：R8年4月17日(金)～5月29日(金)

補助メニュー	補助率・補助限度額
①施設の高付加価値化・高機能化	補助率1/2 100万円～5,000万円
②インバウンド対応	補助率1/2 100万円～1,000万円
③バリアフリー・ストレスフリー対応	補助率1/2 50万円～500万円
④観光防災・危機対応	補助率1/2 50万円～500万円

II バリアフリー観光の推進

バリアフリー観光の推進のため、研修会の開催や情報発信の充実、旅行会社等との連携促進に取り組みます。

- 「観光施設における心のバリアフリー認定※」取得のための研修会を年2回開催予定

※バリアフリーに関するソフト面での対応や情報発信に積極的に取り組んでいる施設を認定し、公表する制度
県内施設の認定数：R8.3末現在 146件 (全国6位)



- 宿泊施設やトイレのバリアフリー調査を実施し、Webサイトで情報発信
- 伊勢志摩バリアフリーツアーセンターと旅行会社等が連携し、モデルツアーを検討

④高付加価値旅行者に対応した受入環境の整備

I 上質な宿泊施設の誘致活動を展開

- 小規模ホテルを含む上質な宿泊施設の立地を促進するため、「上質な『みえ旅』宿泊施設立地補助金」の制度拡充。※R8.4.1施行
- スモールラグジュアリーや歴史的建造物を活用したホテルが人気
 - 改正前は、10室未満の小規模ホテルは対象外

改正前

<要件>

- 部屋数 10室以上 (南部5室以上)
- 投資額 5億円 (南部3億円)
- 部屋の広さ (50㎡以上必要) 5室以上 (南部2室以上)
- 地域産品を活用した飲食施設を有すること

<補助内容>

- 補助率 10% (南部15%)
- ※DMOと連携した場合 20% (南部25%)
- 補助上限額 5億円

改正後

<要件>

- 部屋数 5室以上
- 投資額 3億円 (5室以上10室未満) 5億円 (10室以上)
- 部屋の広さ (50㎡以上必要) 2室以上 (5室以上10室未満) 5室以上 (10室以上)
- 地域ならではの食体験の提供体制を整えること

<補助内容>

変更なし

II 高付加価値旅行者に対応できる観光ガイド人材の育成

高付加価値旅行者のニーズに対応できる観光ガイド人材を育成するため、研修会を実施するとともに、活躍機会を提供。

- 「観光ガイド養成プログラム」(全6回)実施予定
 - ・ ガイディング手法や旅程管理・危機管理の知識
 - ・ 伊勢志摩、伊賀、東紀州地域で実践研修
 - R7 参加者31名、うち修了認定者11名 (R6～累計25名)
- 活躍機会の創出
 - ・ プロフィール作成、Webサイトへの掲載
 - ・ PR資料の作成や旅行会社など事業者への紹介



実践研修 於：伊賀市

(3) 国内誘客の推進について

大都市圏からの誘客促進に向け、三重県に対する認知・関心を高めるための多様な手段を活用した観光プロモーションや、本県への来訪・宿泊・周遊を促すためのキャンペーンなど、目的やターゲットに応じたさまざまな取組を市町や観光事業者等と連携して総合的に展開。

① 大都市圏プロモーションの実施

首都圏や関西圏等大都市圏からの誘客促進に向け、SNSやテレビ等のメディアを通じた情報発信、観光情報説明会など、多様な手段を活用することにより、効果的に三重の魅力を発信します。

● 観光情報説明会「みえ旅レセプション2026」の開催

市町や県内観光事業者等と連携し、首都圏のメディアや旅行会社等を対象としたセミナーや商談会を開催

● メディアへのプロモーション

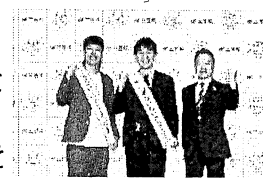
テレビや雑誌等のメディアで三重を紹介してもらえるよう、メディアキャラバンやプレスツアーを首都圏及び関西圏のそれぞれにおいて実施

● 「三重おいなナビゲーター」による情報発信

三重県とゆかりが深く、全国的に強い発信力のある人をナビゲーターとして委嘱し、テレビやSNS等自身の活動に加え、県主催イベントへの出演などを通じて三重の魅力を積極的に発信



みえ旅レセプション2025



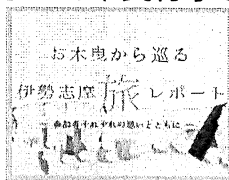
三重おいなナビゲーター

② 式年遷宮を契機とした観光プロモーション

第63回神宮式年遷宮を契機に三重県への関心を高めるため、関係市町や伊勢志摩観光コンベンション機構等の地元の団体等と連携し、お木曳行事を題材とした観光プロモーションに取り組みます。

● 著名人を活用した情報発信

強い発信力のある著名人がお木曳行事への参加や周辺観光地を周遊している様子を動画や記事におさめ、特設サイトや自身のSNS等で発信



特設WEBサイト

● 首都圏における情報発信

令和9年度に行われるお木曳行事（第二次）を見据え、「お木曳」や「お伊勢参り」をテーマとした観光PRイベントを首都圏において開催



お木曳行事の様子

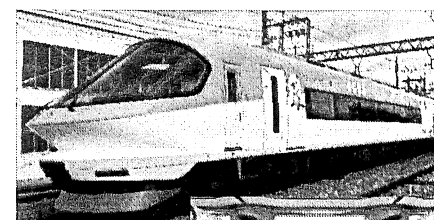
③ みえ応援ポケモン「ミジュマル」を活用した取組

県内誘客・周遊促進に向け、株式会社ポケモンと締結している包括連携協定により、「ポケモンローカルActs」の取組を活用し、みえ応援ポケモンの「ミジュマル」とともに三重の魅力を発信します。



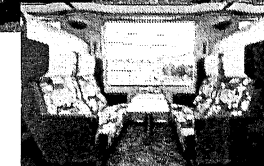
● 県内周遊企画

県内市町や観光協会、観光事業者等と連携し、県内の観光スポットや「三重県×ミジュマル」関連スポットを巡る県内周遊企画を実施



● 「ミジュマルライナー」運行1周年企画

三重県、(株)ポケモン、近鉄日本鉄道(株)の3者が連携し、令和7年2月より運行している近鉄特急「ミジュマルライナー」の運行開始1周年を記念したキャンペーンを実施



近鉄特急「ミジュマルライナー」

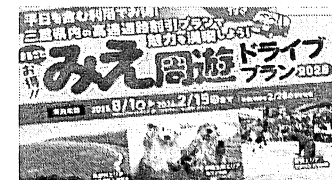
©Pokémon. ©Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.

④ 県内周遊促進の取組

県内宿泊・周遊を促進するため、高速道路を利用した宿泊・周遊キャンペーンを実施します。また、県外からの教育旅行の誘致に向けた目的地としての魅力のPR等に取り組みます。

● みえ周遊ドライブプラン

中日本高速道路(株)及び県内宿泊事業者と連携し、高速道路を利用した宿泊・周遊キャンペーンを実施



みえ周遊ドライブプラン2025

● 教育旅行の誘致促進

「みえけん！教育旅行ポータルサイト」の内容の充実と活用促進、県外の旅行会社や学校へのセールス・情報発信等により、目的地としての魅力をPR



みえけん！教育旅行ポータルサイト

2

2

(4) インバウンド誘客の推進について

効果的なインバウンド誘客に向け、データに基づいた計画を策定するとともに、認知度向上やゴールデンルート・関西圏からの誘客に向け、海外O T A（オンライン旅行会社）やインフルエンサーの発信力を活用した情報発信、観光・物産・食が一体となったプロモーション等に取り組みます。

また、高付加価値旅行者の誘客に取り組むとともに、D M O（観光地域づくり法人）等、地域が主体となって進める高付加価値な観光地づくりの取組を支援します。

加えて、G 7 開催実績、豊かな自然・文化、産業集積など三重県の強みを生かした国際会議や企業が実施する会議、報奨・研修旅行といったM I C E誘致と産業観光の推進に取り組みます。

① インバウンドプロモーションの推進

I インバウンド誘客に向けデータに基づいたインバウンド誘客計画の策定と推進

第63回神宮式年遷宮に向けて増加が見込まれる国内旅行者をしっかりと受け入れつつ、増加の兆しのあるインバウンドを受け入れるため、重点的に取り組むべき市場や効果的なマーケティング手法、目標値の設定等について、データに基づいた計画の策定を進めます。
また、策定後は計画に基づき、各取組を進めます。

II 認知度向上やゴールデンルート・関西圏等からの誘客

認知度向上やゴールデンルート・関西圏を周遊する旅行者等に対して県内への周遊・宿泊を促進するため、インバウンドが関心を寄せる体験コンテンツ等を紹介する動画の作成、インフルエンサーや海外O T Aを活用した情報発信、鉄道事業者等と連携したプロモーション、観光・食・物産が一体となった三位一体プロモーションに取り組みます。

III F 1 を契機とした誘客

F 1 日本グランプリを目的に来訪する外国人旅行者に対し、三重県への周遊・宿泊を促進するため、引き続き旅行会社等と連携して旅行商品の造成や情報発信等に取り組みます。

IV 三重県観光連盟・日本政府観光局（J N T O）等との連携

三重県観光連盟が事業者と連携して取り組む、商談会や旅行博への参加、営業代理人（レップ）の設置等によるアジア市場からの誘客等を支援するほか、J N T Oや全国知事会と連携した情報発信等に取り組みます。



インバウンド誘客計画策定
における有識者会議



インフルエンサーによる
県内取材

(4) インバウンド誘客の推進について

② 海外の高付加価値旅行者の誘客促進

I 高付加価値旅行者の誘客

三重県の観光資源が強みを持ち、経済波及効果が大きいと期待される欧米を中心とした市場の旅行会社を対象にファムトリップ（視察旅行）を実施するとともに、フランスとアメリカに営業代理人（レップ）を設置し、旅行会社へのセールスや商談会、旅行博への出展等を活用した誘客に取り組みます。

また、フランス企業等が実施する福利厚生旅行の誘致に取り組みます。

II 地域が取り組むインバウンド誘致への支援

観光庁による「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり」のモデル観光地に選定されている伊勢志摩地域を中心とした取組を支援するとともに、同じく国のモデル観光地に選定されている奈良県・和歌山県とも連携を図り、紀伊半島一体のブランド化と周遊促進に取り組みます。



フランス福利厚生旅行の誘致促進に向けた
MOU改定締結式
於：三重県庁

③ MICE誘致・産業観光の推進

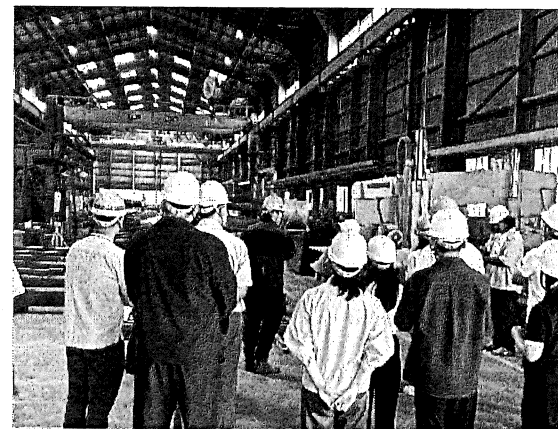
I MICEの誘致促進

三重県の強みを生かした国際会議や、企業が実施するミーティング、報奨・研修旅行といったMICEの誘致を進めるため、首都圏等に所在する学会事務局や三重大学等県内外の大学関係者、企業等MICE主催者への営業活動や補助制度のPR及び三重県の魅力発信に取り組みます。

II 産業観光の推進

三重県産業観光推進協議会と連携して、海外からの企業関係者の誘客促進と県内での滞在長期化、産業観光の先進地としてのブランド化に取り組むとともに、産業観光コンテンツを活用した高付加価値旅行者の誘客に取り組みます。

また、令和7年度実施した韓国ミッションのフォローアップを行い、さらなる誘客の促進に資するため、韓国現地においてセミナー開催等に取り組みます。



産業観光
(橋梁等製造工場の視察)
於：松阪市

(5) 観光産業の生産性向上、人材確保・育成・定着に向けた取組について

観光産業が抱える生産性の低さや人材不足等の課題解決に向け、専門家による個別コンサルティングの実施や、ワークショップ、セミナーの開催により、生産性向上及び人材確保・育成・定着に一体的に取り組むとともに、それらの取組を広く情報発信することで、観光産業の魅力向上を図ります。

① 観光産業の生産性向上支援

I 個別コンサルティング(①・②共通事業)

県内の観光事業者へ専門家を派遣し、伴走型の個別コンサルティングを通して、

- ①生産性向上の取組、②人材戦略の構築を支援します。複合的な経営課題に対応できるよう、①②の2テーマについて、今年度から支援対象者の同時募集を行います。

●対象

- ・県内で宿泊施設、観光施設、土産物店、体験事業のいずれかを営む観光事業者
- ・県内のDMOまたは観光協会

●申請期間：令和8年4月14日(火)から6月19日(金)まで

●コンサルティングの対象となるテーマ

- ・生産性向上に関するテーマ：売上の増加、業務や投入資源の効率化等
- ・人材戦略に関するテーマ：採用活動の整理、人材育成の方針・体制強化、働きやすい職場づくり等

●支援件数(予定)

- ・生産性向上に関するテーマ：5件程度
- ・人材戦略に関するテーマ：5件程度

II ワークショップの開催

県内の観光事業者を対象に、「マーケティングや情報発信強化による誘客力向上」をテーマとしたワークショップを開催し、現場ですぐに実践可能な生産性向上の取組の導入を支援します。

ワークショップは全2回の構成で、第1回(7/8開催予定)では実施する施策を検討し、インターバル期間に事業者主体で施策に取り組み、第2回で取組成果の振り返りと改善施策を検討します。

- 募集期間(予定)：令和8年5月下旬頃から6月下旬頃まで
- 支援件数(予定)：15者程度

② 観光産業の人材確保・育成・定着支援

派遣費用 無料
三重県内の観光事業者の皆様へ
令和8年開催
専門家派遣のご案内

三重県内の観光事業者を対象に、
【生産性向上】や【人材戦略】に関する取組を支援するため、
観光産業や経営・人材分野に精通した専門家を派遣します。

個別コンサルティングの目的、ご关心的にはありませんか？

生産性向上
人材確保(採用・育成・定着)

支援の流れ

- 事前ヒアリング
- 課題分析
- 定着施策の提案・導入～定着支援
- 成果報告会

事前ヒアリング
・専門家のコンサルティングを受けて、企業課題を把握し、課題解決の方向性についてヒアリングします。

課題分析
・課題の整理と優先順位付け、課題解決のための施策の提案、導入のサポートを行います。

定着施策の提案・導入～定着支援
・施策の推進をサポートし、定着のための施策を提案・導入のサポートを行います。

成果報告会
・実施した施策の成果を報告し、今後の課題や改善策について話し合います。

※個別コンサルティングの費用は無料、
活動期間の個人費用が低くなる場合は実施期間中に実施の費用上乗せとなります。

お申し込み詳細は
お問い合わせください。

三重県
観光産業振興課 観光産業振興課 観光産業振興課

個別コンサルティング募集案内

II 参加型セミナーの開催

県内の観光事業者等を対象に、採用・育成・定着の3つのテーマを軸に、ロールプレイやディスカッションを交えながら、現場で役立つ実践的な内容を学ぶセミナーを全2回開催します。

- 開催時期(予定)：第1回 6月23日(火) 13:00～16:00
第2回 9月上旬
- 募集期間(予定)：各回開催1か月前から開催日3日前まで
- 参加者数(予定)：各回20者程度

(5) 観光産業の生産性向上、人材確保・育成・定着に向けた取組について

事業規模や人手・人材不足を理由に、そもそも生産性向上や人材確保に取り組める環境にない観光事業者もいることから、経営に直結する業務に集中できる環境を整え、事業者内部で生産性向上や人材確保の取組が促進されるよう、観光事業者のバックオフィス業務代行の促進を支援します。

また、事業者の取組の成果を事例集に取りまとめるほか、サイトにて情報発信するなど、取組の横展開を図ります。

③ バックオフィス業務代行支援（令和8年度新規事業）

令和7年度に実施したアンケート調査により、観光事業者にとって「人材不足」が主要な課題であり、採用や経理、人事・労務、SNS・OTA運用等のバックオフィス業務について、オンライン業務代行の活用にニーズがあることがわかりました。

I 支援内容

下記①・②の業務について、業務の一部または全部を、オンラインで業務代行します。

【対象とする業務】

- ①採用、経理、人事・労務、事務
…全産業において共通のバックオフィス業務
- ②OTAの登録・運用、SNS運用
…観光業界特有のバックオフィス業務

【支援件数】最大15者（予定）

【費用負担】サービス利用料の2/3を助成

II セミナーの開催

オンライン業務代行について、県内観光事業者及びDMO・観光協会・商工会議所等の観光事業者を支援する機関に広く周知を図るため、セミナーを開催します。

セミナーでは、課題や領域に応じて、事業者がオンライン業務代行を活用することでどのように業務効率化を図れるか、サービスの詳細について説明します。

【開催時期】全4回：6/9(火),12(金),18(木),25(木)開催予定

④ 県内観光事業者への取組の共有

I 事例集の作成・成果報告会の開催

個別コンサルティングやワークショップ、業務代行支援を通じて導入した取組の成果について、1冊の事例集に取りまとめます。

また、事業に参加した観光事業者の現場の声を聞ける場として、成果報告会を開催します。

これらの取組を通じて、県内の観光事業者へ事例を共有し、横展開や機運醸成を図ります。

令和7年度
観光産業の
生産性向上・人材確保事業
事例集



令和7年度事例集

II 魅力発信

観光産業で働くことの魅力を伝えるために立ち上げたサイト「みえ観光みらいNAVI」を活用し、観光事業者の従業員インタビューや、生産性向上、人材確保・育成・定着等の取組を紹介するなど、これまでの観光産業の魅力向上に対する県全体での取組を広く情報発信しています。